

# 広報実務の最前線 情報発信の方法から広報効果測定まで

**日時** 平成28年3月3日(木) 10:00~16:00  
計5時間(1日間)

**対象** ● 広報関連部門のマネージャー・スタッフの方

**会場** NHK 名古屋放送センタービル内教室

**講師** (株)タカオ・アソシエイツ  
代表取締役

**高雄 宏政 氏**

## 本セミナーの 強化ポイント

さまざまな事例をもとに、広報計画の策定から情報発信にあたっての心得、情報発信の方法、さらに広報効果の測定から危機管理に至るまでを解説いたします。

## 講義項目

### 1. 広報計画の策定

- (1) 「広報は営業だ」に徹した全日本空輸のリレーションズ活動
- (2) 認知度向上プロジェクトを推進した帝人
- (3) 広報計画策定のためのプロセス
- (4) 課題抽出・課題の明確化に有効なマスコミサーベイと報道分析
- (5) 課題解決に向けた施策

### 2. 情報発信の原則

- (1) 記者が取材したくなる企業とは
- (2) シェアトップに導いたアサヒビールの「ストーリー広報」と「数字広報」
- (3) 情報力を発揮したバンダイ「∞ブチブチ」のバブリシティ
- (4) ニュース素材の条件とニュースリリースのチェックポイント
- (5) ニュースリリース文章の原則

### 3. 取材対応の心得

- (1) メディアの特性と記事の違い
- (2) 出版社系週刊誌の編集体制と雑誌ジャーナリズムの変遷
- (3) 事前・取材時・事後における取材対応の原則
- (4) 企業イメージを形成するPI (プレジデント・アイデンティティ)
- (5) 知っておきたい記者が嫌うこと

### 4. 情報発信の種類と機能

- (1) 情報発信手段と広報ツールのポジショニング
- (2) バブリシティ効果やリレーションズ効果を発揮する「ニュースレター」
- (3) 業界担当記者が喜ぶバンダイの「手帳型ファクトブック」

- (4) ロイヤルティの醸成に役立つと再認識されている「簡易型社史・年史」
- (5) PRの原点「企業出版」のバブリシティ効果と第5の媒体としての機能
- (6) 広報セクションが担う「工場見学」や「体験学習」
- (7) PRキャンペーンの希有な成功事例  
… 伊藤園「お〜いお茶新俳句大賞」

### 5. 報道分析と広報効果測定

- (1) 報道分析の目的と報道分析を行う基本スタンス
- (2) 単独主役記事と脇役参考記事の区分と論調判断の考え方
- (3) 記事内容の項目別分類と事業グループ部門の露出計測
- (4) 商品名・人名・トピックの露出状況がわかる「アイテム抽出」
- (5) 記事件数とスペースにインプレッション効果を加えて算出する「露出指数」
- (6) 記事の論調にレピュテーション効果を加えて算出する「論調指標」
- (7) 記事を広告と見なした場合の料金を数値化した「広告料金値」
- (8) 露出指数、論調指標、広告料金値を3大要素とする「広報効果測定値ETAモデル」

### 6. 危機管理の鉄則

- (1) 危機管理の3つの局面(平時・有事・事後)
- (2) 平時のリスク対策と社内リスクの抽出
- (3) 緊急時におけるリスクレベルの判断と対策
- (4) 記者会見を必要とする基準と記者会見での鉄則
- (5) 記者会見の失敗事例から学ぶトップに伝えておきたいこと
- (6) ケーススタディから学ぶ緊急時の成功要因と失敗要因
- (7) 佐川急便の震災対応

**開催にあたって**

効果的なPR活動を行うためには、長期的な視点に立った戦略と多面的な戦術が必要です。

当セミナーでは、実際に企業がやってきたさまざまな事例をもとに、広報計画の策定から情報発信にあたっての心得、情報発信の方法、さらに広報効果の測定から危機管理に至るまで、ベテランから新人まで広く広報担当者が理解し、知っておきたい最新の広報実務を解説いたします。

**講師紹介**

株式会社カオ・アソシエイツ 代表取締役社長  
広報コンサルタント、経済ジャーナリスト

**高雄 宏政 氏**

1949年生まれ。73年同志社大学工学部卒。大正製薬、業界紙記者などを経て78年に編集制作兼広報支援会社を設立。

この間、「週刊ポスト」「プレジデント」「SAPIO」「Men's EX」「フォーブス」などに連載記事を執筆する一方、企業の各種広報ツールの制作や報道分析を手がけ、「PR アワードグランプリ スキル部門賞」や「日本編集制作大賞 企業出版部門賞」を受賞するなど各方面から高く評価されている。著書に「企業出版の研究」「リーダーの決断」「高度情報システム化時代」「危機管理の手引き」「広報活動の手引き」、共著に「広報の仕掛人たち」「企業イメージと広報」「マーケティングコミュニケーション大辞典」などがある。(社)日本パブリックリレーションズ協会理事、(社)日本編集制作協会理事などを歴任。日本広報学会会員。

日時：平成28年3月3日(木) 10:00 ~ 16:00  
計5時間(1日間)

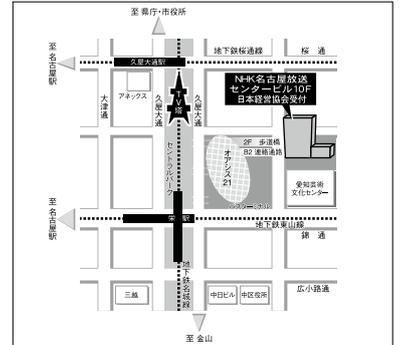
会場：NHK 名古屋放送センタービル内教室  
名古屋市中区東桜1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル ※右図参照

	参加料	消費税等	合計
本会会員	30,000円	2,400円	32,400円
一般	35,000円	2,800円	37,800円

**★複数名申込割引について**

同一企業(団体)から同じ講座(コース)に2名様以上でご参加の場合は、1名様につき、2,160円割引いたします。  
下記申込欄にご記入ください。

※参加料には、テキスト・資料代が含まれています



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】  
地下鉄東山線(4分)栄駅より徒歩5分  
地下鉄桜通線(5分)久屋大通駅より徒歩8分  
【中部国際空港より】  
名鉄(25分)金山駅(乗換)地下鉄名城線(7分)栄駅より徒歩5分  
※地下鉄駅からは、地下街、オアシス21経由でNHKビルに直通

申込方法：下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX等下記へお申込み下さい。  
折り返し、参加券と振込口座を記載した請求書をご派遣責任者までお送り致します。

- 参加料(負担金)は、銀行振込にて開催3営業日前までにお納めください。(経理処理の都合で遅れる場合は、事前にご連絡下さい。)
- 開催3日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがお電話にてご確認ください。
- 参加のお取り消しにつきましては、必ずご連絡ください。参加者のご都合が悪くなった場合は、代理の方にご出席いただけますようお願い致します。
- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。

**キャンセルについて** 開催日3日前~前日迄30%、開催当日は全額をキャンセル料として申し受けますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 中部本部 企画研修グループ (担当/坂井・里見)  
〒461-0005 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 10F TEL (052) 957-4172 (ダイヤルイン)  
日本経営協会・中部ホームページ <http://www.noma.or.jp/chubu/> FAX (052) 952-7418  
※お電話の問い合わせ(駐車場含む)は、平日の9:15~17:15にお願いします。

日本経営協会・中部本部 行 FAX (052)952-7418

こちらの面をそのまま FAX して下さい。

H28/3.3

60004791 「広報実務の最前線 情報発信の方法から広報効果測定まで」参加申込書 平成 年 月 日

★複数名申込割引に該当する場合はチェックして下さい <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 日本経営協会会員 <input type="checkbox"/> 一般 (該当するものにシ印をつけて下さい)	
(フリガナ) 団体名	TEL ( ) -		ご派遣責任者 所属・役職名
	FAX ( ) -		
(フリガナ) 所在地	〒		
No.	参加者(フリガナ)	所属・役職名	担当経験年数
			年 月
			年 月
			年 月
			〈通信欄〉

〈注〉太わくの中をご記入下さい。電算処理の関係上、フリガナご派遣責任者名は必ずご記入下さい。No欄は記入不要です。

※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。

- ① 参加券や請求書の発送などの事務処理
  - ② セミナー運営
  - ③ セミナーなど本会事業のご案内
- お申込時点で趣旨にご同意いただいたものとさせていただきますので、予めご了承下さい。  
なお、③がご不要な場合は右記にチェックしてください。

不要

地球にやさしい再生紙を使用しています。 ©